

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当 受領株主確定日	3月31日
中間配当 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告掲載 URL http://cleanup.jp/
単元株式数	100株

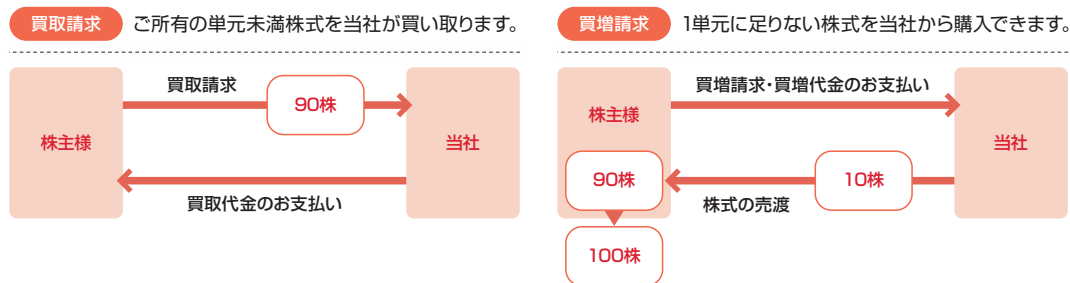
【株式に関するお手続きについて】

- 証券会社等の口座に記録された株式
株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等(口座管理機関)にお問合せください。
 - 特別口座に記録された株式
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
 - 未受領の配当金
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問合せください。
- 【株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関】
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 【同連絡先】
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

■ 単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式につきましては、口座管理機関を通じ、当社に対して買取請求または買増請求をすることができます。お手続きの方法等につきましては、口座管理機関(証券会社等または三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部)にお問合せください。

(例) 株主様が単元未満株式を90株ご所有の場合



■ 特別口座をご利用の株主様へ

特別口座は証券会社等に開設された口座と異なり、自由な売買ができる口座ではありません。株式の売買等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めいたします。お手続きの方法等につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。



キッチンから、笑顔をつくろう

株主の皆さまへ
第64期 第2四半期
報告書

2016年4月1日から 2016年9月30日まで





クリナップの 企業理念

創業者理念「五心」

- 一、創業の心
- 一、親愛の心
- 一、創意の心
- 一、技術の心
- 一、使命の心

創業者理念 「五心」

企業理念 「家族の笑顔を作ります」

行動理念

1. 私たちは、心豊かな食・住文化を創ります
2. 私たちは、公正で誠実な企業活動を貫きます
3. 私たちは、自らの家族に誇れる企業を創ります

ブランドステートメント

キッチンから、笑顔をつくろう

事業としては「キッチンダントツNo.1」をめざす
お客様に対しては「キッチンの代名詞」としての評判をつくる

活動方針

上記三つの理念（創業者理念・企業理念・行動理念）に根ざした強い人材・組織・事業を育成することにより、経営を強化/高度化し、“The Kitchen Company”を確立します。

株主の皆さまへ

『2015年中期経営計画』
2年目の取り組みの中、
付加価値重視の経営に向けた変革を
着実に推し進める。

代表取締役社長

井上 強一



2017年3月期 第2四半期連結累計期間の 連結決算ハイライト

- 売上高は、厨房部門において「S.S.」と「クリンレディ」の販売増もあり、前年同期比0.6%の微増となりました。
- 利益面でも、営業利益が前年同期比211.6%増、経常利益が同317.4%増となりました。

『S.S.』『クリンレディ』の貢献などにより、
増収および増益となりました。

2016年1月以降、新設住宅着工戸数は回復の方向を辿ってきてはおりますが、節約志向の消費マインドが依然として継続しており、本格的な回復とは言えない状況にあります。

そうした中、当期は、付加価値の高い商品の開発・供給、ショールームを起点とした販売活動などに努めた結果、「S.S.」「クリンレディ」を中心とした主力商品が業績を牽引しました。併せて、生産面を中心とした原価低減に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が0.6%の増収、営業利益が211.6%の増益となりました。

“中高級商品の拡販”を推し進めるなど、
「付加価値の最大化」に努めました。

『2015年中期経営計画』は、当期（2017年3月期）で2年目となります。「付加価値（収益）重視経営へ向けた変革」に重点的に取り組むことを掲げ、主に「収益構造の変革」と「経営基盤の進化」を目指した戦略・施策を推進しております。

まず「収益構造の変革」に向けては、特に商品開発や販売戦略などにおいて、「付加価値の最大化」をテーマとして掲げ、取り組んでおります。

主力のシステムキッチンにおける、中高級品クラスの「S.S.」と「クリンレディ」を中心とした展開を目指し、昨年

の「クリンレディ」に続き、本年2月からは「S.S.」においてもご好評いただいております「流レールシンク」を標準装備して受注を開始しました。全国ショールームでの「知って得する体感フェア」やお客さま向けの「ウルトラ流レールキャンペーン2」を実施するなど、積極的な拡販活動を展開し、「S.S.」「クリンレディ」とともに販売数量を伸ばしております。

また、拡大途上にあるリフォーム市場を見据え、“水まわりの総合力”強化を推し進めるべく、商品開発にも注力しております。たとえば、近年、若年層の住宅リノベーション需要が拡大してきたことから、値ごろ感のあるシステムキッチン「ラクエラ」をリニューアルし、リフォーム対応機能の向上等を図りました。洗面化粧台についても、新商品「ファンシオ」と「BGA」を発売し、品揃えの幅をさらに広げました。（P6参照）

その他には、販売体制について、ショールームの整備・強化を引き続き推進しております。本年10月に大阪、東京に続く第3の旗艦ショールームとなる「クリナップ・キッチンタウン・名古屋」をオープンさせたことで、旗艦ショールーム3拠点体制が整いました。また、全国ショールームのリニューアルも計画的に進めております。（P4参照）

生産体制の強化やブランド価値の向上など、
「経営基盤の進化」にも取り組みました。

次に「経営基盤の進化」については、第一に、モノづくり企業としての“基礎”である“生産体制”強化の取り組みで

株主の皆さまへ

す。東日本大震災以降BCP(事業継続計画)の観点から進めてきた「東西2拠点生産体制」が、本年7月の津山工場「新プレスライン」本格稼働によって完成しました。

第二に、キッチン専門メーカーならではのブランド価値向上の取り組みです。たとえば、料理を通じた食育やアンチエイジングの提案など、多彩な“生活価値”を発信するイベントを積極的に展開しております。また、ミラノで開催されている世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ」に、一昨年から連続で独自の未来型コンセプトキッチン『DAIDOCORO』を出展してきました。(P5-6参照)

これら一連の取り組みにより、当社は、付加価値重視経営へ向けた変革を着実に推し進めてまいります。

生産力の強化

西日本における供給体制の強化

津山工場の新プレスラインが本格稼働

当社会社であるクリナップ岡山工業(株)津山工場(岡山県津山市)の新プレスラインは、本年2月の竣工式後、試運転を重ねたのち、7月に本格稼働しました。

これまでは福島県いわき市の工場から、ステンレス製カウンターとシンクの供給を受けていましたが、岡山にて部材から完成品に至るまでの、システムキッチン一貫生産が可能となりました。

「キャビネット+カウンター+シンク」の一貫生産が可能に

西日本における供給体制の強化



「ザ・キッチンカンパニー」として
深化・進化・新化を続けてまいります。

『2015中期経営計画』は、折返し点を過ぎました。下期の経営環境も決して予断を許さない不透明な状況下にあります。前述の基盤改革を中心とした取り組みにより、収益体質の強化を図ってまいります。同時に、キッチン専門メーカーならではの強みを活かしながら、新たな価値の創造にもチャレンジしていきたいと考えております。

クリナップはこれからも、全社員が“プロフェッショナル”としての自覚を持ち、「ザ・キッチンカンパニー」として深化・進化・新化を続けてまいります。

株主の皆さまには、引き続きご支援ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

特集：新しいクリナップ・キッチンタウンが誕生

クリナップで国内最大級の旗艦ショールーム、名古屋駅前エリアに誕生
「クリナップ・キッチンタウン・名古屋」

名古屋ショールーム(愛知県名古屋市)を移転し、中部圏の旗艦ショールーム「クリナップ・キッチンタウン・名古屋」として、名古屋駅前エリアに国内最大級の規模でオープン。キッチンタウン・大阪(2012年)、キッチンタウン・東京(2015年)に続く3つ目のキッチンタウンが誕生しました。

メインコンセプト

キッチンから始まる、素敵な暮らし!
豊かなライフスタイルを体感できる共感型ショールーム

従来のショールームの役割
商品・機能の価値

+

暮らしを楽しむゆとりを大切にする
暮らし方・生活の価値

メインテーマ

Life Smile Mall (ライフ スマイル モール)

- ヨーロッパの都市にあるモールをイメージし、各展示ブースにアーチ型のゲートを設けました。
- エントランスにはきらびやかなクリスタルガラスを設置し、当社独自の技術であるカラスステンレスを使ったパネルでお客様をお迎えします。

主力商品とクリナップブランドを訴求する「ブランドゾーン」

- ウェルカムキッチン&リビング
クリナップならではの最新設備を「プロジェクションマッピング」にて体感しながら確認できます。
- ミュージアム
クリナップの歴史、業界標準を生み出してきた歩みを伝えるミュージアムコーナーを設置しています。クリナップの技術と品質の高さを、時代背景と消費者ニーズに合わせながら紹介します。

お客さまとの効果的なコミュニケーションを実現する「ライフスタイルゾーン」

- クリナップの社内研究機関である「おいしい暮らし研究所」の調査、分析による、お客さまの年齢層やニーズに合わせた効果的なイベントを実施していきます。
- 窓際に設置したカフェカウンターや、500以上のアイテムを揃えるショップ「ドリーミアショップ」を設置し、どなたでも気軽に立ち寄れるショールームを目指しました。



カラスステンレスを使ったエントランス



アイテム豊富なドリーミアショップ

主なトピックス

全国のショールームを拠点とした『暮らし方・生活の価値』の提供

多彩な“生活価値”発信により、専業ならではのブランド価値の創造と向上を推進

全国のショールーム 毎月開催

食・住文化に関するセミナー

人気サロネーゼによる「Dreamia seminar」



サロネーゼとは、ご自宅を中心に食と住空間に関連するサロン(教室)を開催し、培ってきたスキルを提供しながら、生き生きと活躍する人々のこと。彼女たちによる「暮らしを楽しみ、ゆとりを大切に」情報を、全国のショールームから配信します。

キッチンまん中、おいしい暮らし
Dreamia Club

会員制の食住文化情報コミュニティWebサイト「Dreamia Club」(一般会員数約22,000名)を、2008年から主催。現在、1,900名を超えるサロネーゼがメンバー登録しています。

“クリナップ・キッチンタウン・東京”にて

子ども調理科学教室(8月3回実施)

わくわくキッチン! たべものへんしんきょうしつ



認知症予防に関するセミナー(10~12月3回実施予定)

いきいきキッチン! 料理で脳のアンチエイジング



お客さまの声に応えた『商品・機能の価値』の提供

リフォーム市場に向けた“水まわりの総合力”強化を目指し、商品のリニューアル、新商品開発を推進

リニューアル

若年層の住宅リノベーション需要も視野に…

システムキッチン「ラクエラ」



使用頻度の高い小物を効率よく取り出せる「フォローパレット」付きベースキャビネット

リニアールの
主なポイント

- デザイン性と収納性を強化
- リフォーム対応機能を向上

リニューアル&新商品

洗面化粧台「ファンシオ」&「BGA」



BGA

ファンシオ

「流レールボールLL」

- 清掃の手間を軽減するボール形状
- ゴミをボール周囲の「流レール」に集め、排水口へと流す

「流レールシンク」の発想とノウハウを活かした「流レールボール」が
2016年度 グッドデザイン賞を受賞

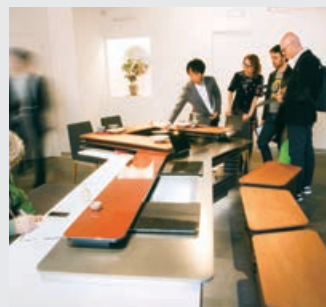
GOOD DESIGN
AWARD 2016

JAPANESE KITCHEN DAIDOCORO

未来型コンセプトキッチン「DAIDOCORO2016」ミラノに続いて六本木で日本初公開

本年4月に、世界最大級の家具見本市「ミラノサローネ 2016」同時開催の「ミラノ・デザインウィーク」に、未来型のコンセプトキッチン「DAIDOCORO2016」を出展。ミラノにおいて世界各国の来場者の方々から高い評価をいただきました。また、この11月には、アクシスギャラリー(東京・六本木)にて展示・公開。国内においても注目を集めました。

■ ミラノ・デザインウィーク(4/12 ~17)にて展示



■ 六本木・アクシスギャラリー(11/1~6)にて展示



連結ハイライト情報 / 連結部門別情報

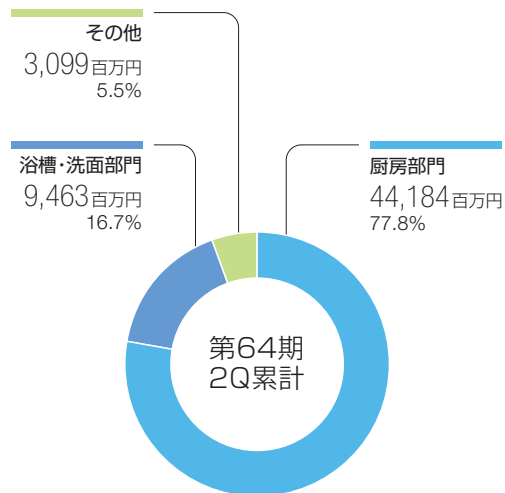
■ 連結財務ハイライト

(百万円)

	第62期2Q累計 2015年3月期2Q累計	第62期 2015年3月期	第63期2Q累計 2016年3月期2Q累計	第63期 2016年3月期	第64期2Q累計 2017年3月期2Q累計
売上高	60,377	116,239	56,393	114,445	56,747
営業利益	2,517	3,028	398	1,129	1,242
経常利益	2,316	2,703	276	867	1,153
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	725	883	83	340	935
総資産	87,107	86,063	86,371	85,871	85,900
純資産	56,026	56,509	56,051	55,773	56,151

■ 部門別売上高(連結)

(百万円)



	第63期2Q累計 2016年3月期2Q累計	第63期 2016年3月期	第64期2Q累計 2017年3月期2Q累計
厨房部門	43,677	89,755	44,184
浴槽・洗面部門	9,745	18,466	9,463
その他	2,971	6,223	3,099
合計	56,393	114,445	56,747

厨房部門の主な商品

高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」、中・高級品クラスの「クリンレディ」、普及品クラスの「ラクエラ」、マンション向けシステムキッチン、セクショナルキッチン等で構成されております。

浴槽・洗面部門の主な商品

中・高級品クラスのシステムバスルーム「アクリアバス」、普及品クラスの「ユアシス」等の浴槽関連商品と、洗面化粧台等で構成されております。

第64期第2四半期連結累計期間の営業概況

市場環境

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金利政策により緩やかな回復基調にあるものの、アジア諸国の景気減速や英国のEU離脱などによる円高進行や不安定な株価動向もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

住宅設備機器業界におきましては、貸家や持家などの新設住宅市場はやや活性化したものの、消費税率引き上げの延期もあり消費マインドの盛り上がりには欠け、厳しい環境が継続いたしました。

業績・成果

このような中で当社グループは、『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」や「クリンレディ」、2016年6月に『流レールポールLL』を搭載して新発売した洗面化粧台「ファンシオ」、2016年9月にリフォーム対応力を強化して新発売したシステムキッチン「ラクエラ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るために、2016年10月に中部エリアの旗艦ショールームとして「クリナップ・キッチンタウン・名古屋」をオープンいたしました。また、全国102カ所のショールームを活用したフェアを開催し、当

社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、BCP(事業継続計画)の観点から東西の生産バランス再編を推進しつつ、受注生産方式を活かした付加価値創造と原価低減に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比0.6%増の567億47百万円となりました。利益面では営業利益は同211.6%増の12億42百万円、経常利益は同317.4%増の11億53百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億35百万円(前年同期は83百万円)となりました。

第64期第2四半期連結累計期間の部門別の状況

部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. S.」は数量、金額とも増、「クリンレディ」も数量、金額とも増、「ラクエラ」は数量、金額とも減となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比1.2%増の441億84百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも減、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比2.9%減の94億63百万円となりました。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の要旨

(百万円)

流動資産 流動資産は前期末比3億83百万円増加し、550億17百万円となりました。これは現金及び預金が3億47百万円、電子記録債権が8億2百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が6億61百万円減少したこと等によります。

固定資産 固定資産は前期末比3億54百万円減少し、308億82百万円となりました。これは有形固定資産が5億29百万円、無形固定資産が2億86百万円減少した一方、投資その他の資産が4億61百万円増加したことによります。

資産合計 総資産は前期末比28百万円増加し、859億円となりました。

	第63期2Q 2015年9月30日現在	第64期2Q 2016年9月30日現在	第63期 2016年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	55,829	55,017	54,634
現金及び預金	22,356	20,645	20,297
受取手形及び売掛金	18,800	18,531	19,193
電子記録債権	—	7,865	7,063
その他	14,714	7,979	8,121
貸倒引当金	△ 41	△ 4	△ 42
固定資産	30,542	30,882	31,237
有形固定資産	21,930	22,017	22,546
建物及び構築物	9,138	9,047	9,164
その他	12,792	12,969	13,382
無形固定資産	2,743	2,737	3,024
投資その他の資産	5,867	6,128	5,666
投資有価証券	3,150	3,492	3,056
その他	2,788	2,690	2,665
貸倒引当金	△ 71	△ 54	△ 55
資産合計	86,371	85,900	85,871

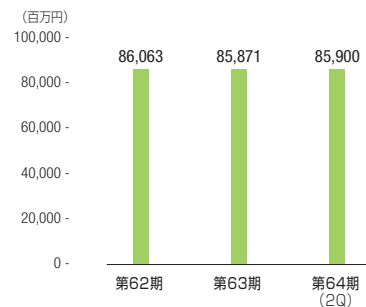
	第63期2Q 2015年9月30日現在	第64期2Q 2016年9月30日現在	第63期 2016年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	24,421	23,761	24,258
買掛金	6,886	6,644	7,170
厚生年金基金解散損失引当金	—	21	915
その他	17,534	17,095	16,172
固定負債	5,898	5,987	5,839
長期借入金	772	1,894	1,556
退職給付に係る負債	1,190	931	1,095
役員退職慰労引当金	416	416	416
厚生年金基金解散損失引当金	915	—	—
その他	2,602	2,744	2,771
負債合計	30,319	29,749	30,098
(純資産の部)			
株主資本	54,359	54,715	54,199
資本金	13,267	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	12,351
利益剰余金	29,051	29,406	28,889
自己株式	△ 310	△ 309	△ 309
その他の包括利益累計額	1,691	1,435	1,574
その他有価証券評価差額金	925	832	877
為替換算調整勘定	147	△ 10	100
退職給付に係る調整累計額	617	613	597
純資産合計	56,051	56,151	55,773
負債純資産合計	86,371	85,900	85,871

流動負債 流動負債は前期末比4億96百万円減少し、237億61百万円となりました。これは短期借入金が4億28百万円、電子記録債務が24億86百万円、未払法人税等が3億48百万円増加した一方、未払金が27億18百万円、厚生年金基金解散損失引当金が8億93百万円減少したこと等によります。

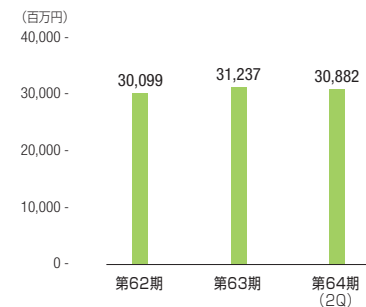
固定負債 固定負債は前期末比1億47百万円増加し、59億87百万円となりました。これは主に長期借入金の増加3億38百万円等によります。

純資産合計 純資産合計は前期末比3億77百万円増加し、561億51百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益9億35百万円、配当金の支払い4億18百万円、為替換算調整勘定の減少1億11百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前期末の65.0%から65.4%になりました。

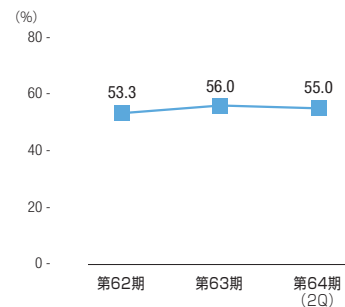
■ 資産合計



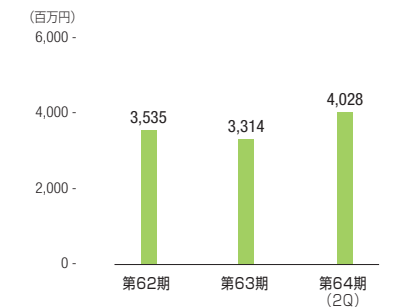
■ 固定資産



■ 固定比率

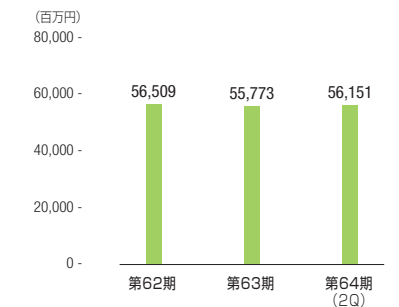


■ 有利子負債

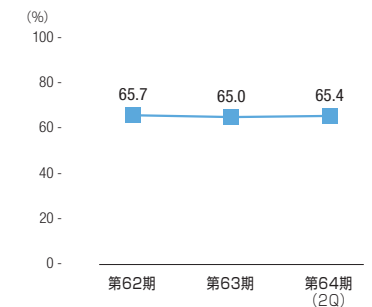


※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金、リース債務の合計。

■ 純資産合計



■ 自己資本比率



連結財務諸表

売上高 付加価値の高い商品の開発・供給、ショールームを起点とした価値提供強化と販売活動などに努めた結果、「S.S.」「クインレディ」を中心とした主力商品が業績を牽引し、売上高は前年同期比0.6%増の567億47百万円となりました。

売上原価 原価低減に努めた結果、売上原価率が前年同期比0.6ポイント低下し66.8%となりました。

販管費 新商品の開発や販売体制の強化、拡販活動等を積極的に行う中、経費節減や生産性の向上等に努めた結果、販管費は前年同期比3億91百万円減少しました。また、販管費率は同0.9ポイント低下し31.0%となりました。

営業利益 増取に加え、売上総利益率の向上と販管費率の低下により、営業利益は前年同期比211.6%増の12億42百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益 親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益の大幅な増加を受けて、9億35百万円(前年同期は83百万円)となりました。

■ 連結損益計算書及び連結包括利益計算書の要旨 (百万円)

	第63期2Q累計	第64期2Q累計	第63期
	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
(連結損益計算書)			
売上高	56,393	56,747	114,445
売上原価	37,983	37,885	77,331
売上総利益	18,410	18,862	37,114
販売費及び一般管理費	18,011	17,619	35,985
営業利益	398	1,242	1,129
営業外収益	278	291	544
営業外費用	400	380	805
経常利益	276	1,153	867
特別利益	45	312	48
特別損失	67	27	161
税金等調整前四半期(当期)純利益	254	1,438	754
法人税等	171	503	413
四半期(当期)純利益	83	935	340
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	83	935	340
(連結包括利益計算書)			
四半期(当期)純利益	83	935	340
その他の包括利益	△ 122	△ 139	△ 239
四半期包括利益(包括利益)	△ 39	796	101

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (百万円)

	第63期2Q累計	第64期2Q累計	第63期
	2015年4月1日～ 2015年9月30日	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638	1,608	3,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,059	△ 1,458	△ 3,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	200	288	△ 1,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△ 90	△ 22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	791	347	△ 1,766
現金及び現金同等物の期首残高	23,578	21,811	23,578
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	24,370	22,159	21,811

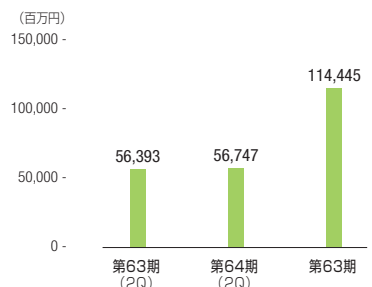
営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果得られた資金は16億8百万円(前年同期比1.9%減)となりました。これは税金等調整前四半期純利益が14億38百万円、減価償却費が17億94百万円、仕入債務の増加21億72百万円があった一方、厚生年金基金解散損失引当金の減少8億93百万円、たな卸資産の増加4億91百万円、未払金の減少24億90百万円があったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果使用された資金は14億58百万円(前年同期比37.6%増)となりました。これは投資有価証券の取得による支出が5億2百万円、生産設備の改修、ショールームの改装等の有形固定資産の取得による支出が6億28百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が3億28百万円あったこと等によるものです。

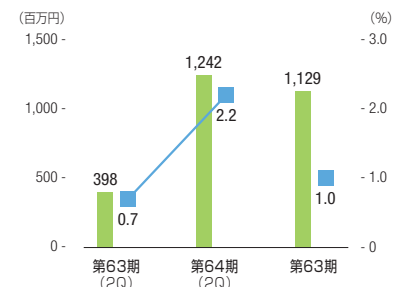
財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果得られた資金は2億88百万円(前年同期比44.4%増)となりました。これは配当金の支払いが4億18百万円あった一方、長期借入金の純増が7億66百万円あったこと等によるものです。

現金及び現金同等物の四半期末残高
現金及び現金同等物の四半期末残高は前期末に比べ3億47百万円増加して22億59百万円となりました。

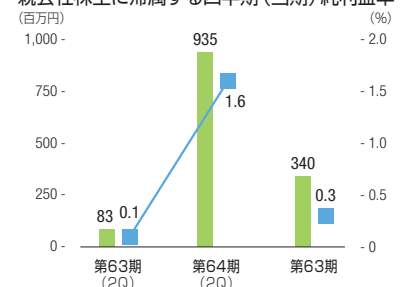
■ 売上高



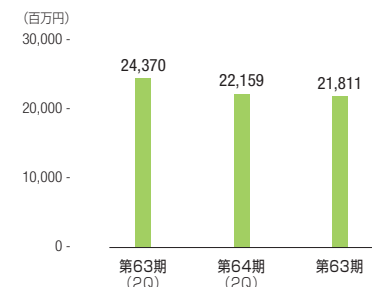
■ 営業利益・営業利益率



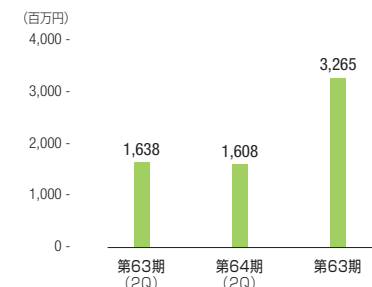
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率



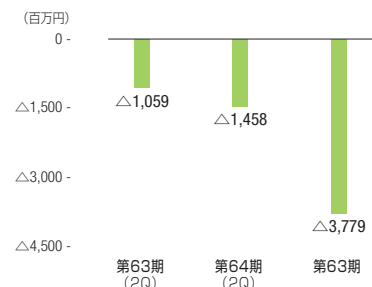
■ 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー



■ 投資活動によるキャッシュ・フロー



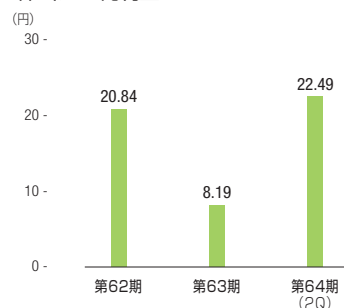
株主関連情報 (2016年9月30日現在)

■ 剰余金の配当について

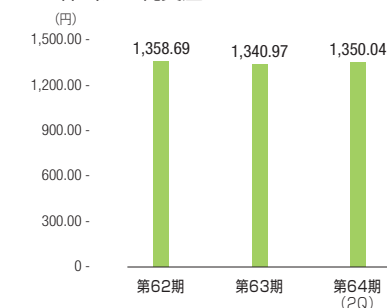
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針の一つとして考えており、配当につきましては、収益の状況及び将来の事業展開を勘案し安定的な配当の継続を基本として、決定しております。

以上の方針に基づき、中間配当金は、1株当たり10円とさせていただきます。また、当期の年間配当金は、中間配当を含め1株当たり20円を予定しております。

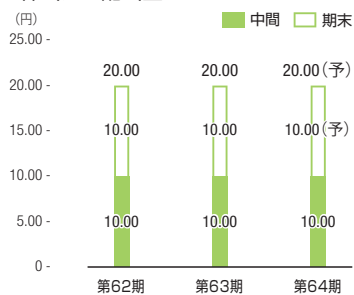
■ 1株当たり純利益



■ 1株当たり純資産

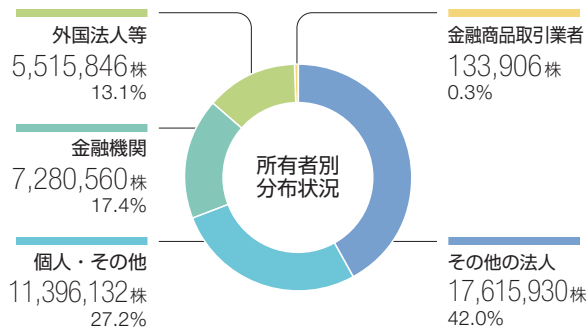


■ 1株当たり配当金



■ 株式の状況

発行可能株式総数	130,000,000株
発行済株式総数	41,942,374株
株主数	3,961名



■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社井上	12,476	29.7
クリナップ真栄会	1,856	4.4
株式会社タカヤス	1,829	4.3
クリナップ社員持株会	1,780	4.2
クリナップ共進会	1,640	3.9
井上 強一	1,217	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,198	2.8
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,034	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	757	1.8
三菱UFJ信託銀行株式会社	693	1.6

注) 持株比率は、「株式付与ESOP信託口」が保有する自己株式(299,800株)を除いた自己株式(50,367株)を控除して計算しております。

会社情報 (2016年9月30日現在)

■ 会社概要

商号	クリナップ株式会社 Cleanup Corporation
本社所在地	〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
電話番号	03-3894-4771(大代表)
創業	1949年10月5日
会社設立	1954年10月5日
上場	1990年2月6日 東証2部上場 1991年9月2日 東証1部指定
資本金	132億6,734万円
主要営業品目	厨房機器、浴槽機器、洗面機器、その他
社員数	連結：3,595名 / 単体：2,794名
主な事業所	支社：国内3カ所 支店：国内4カ所 営業所：国内125カ所 海外：香港、北京、台湾 工場：四倉、鹿島システム、湯本、クレート、鹿島 (いずれも福島県いわき市)

■ 役員

代表取締役社長	井上 強一	社外取締役	川崎 享
取締役	小島輝夫	社外取締役	千代田有子
取締役	佐藤 茂	常勤監査役	山根 康正
取締役	藤本 真一	常勤監査役	山本 幸男
取締役	島崎 憲夫	社外監査役	新谷 謙一
取締役	山田 雅二	社外監査役	有賀 文宣
取締役	竹内 宏		

■ ショールーム/全国102カ所

北海道支店ブロック	4カ所	中部支社ブロック	12カ所
東北支店ブロック	13カ所	関西支社ブロック	26カ所
東京支社ブロック	28カ所	九州支店ブロック	12カ所
上信越支店ブロック	7カ所		

お近くのショールームをホームページでご確認ください。

<http://cleanup.jp/>

※株主・投資家の皆さまに向けたIR情報(決算情報等)を掲載しております。また、「商品情報」をはじめ、ホットな「新着情報」、さらに「生活情報」なども掲載しております。

